

アルペンスキー世界選手権 最終日 男子回転 ガルミッシュ大会

53年ぶり 快挙!! 湯浅直樹選手 6位入賞!



湯浅 直樹 選手

使用用具 | **Hart** | **FABLICE** | **LOOK** | **SOLOMITE** | **FOLIO**

アルペンスキー世界選手権、最終日となった男子回転種目で、湯浅直樹が五輪も合わせ自己最高の6位入賞を果たした。世界選手権に於ける日本選手の成績としては1958年バドガーシュタイン大会(AUT)での銅メダル(猪谷千春選手)に続く快挙。試合前夜、散水+硬化剤により固められたコースは第一シード後半の選手が滑る頃にはエッジングの跡が残り、タイム差が開き始める状況となった。湯浅選手は1本目好タイムの出辛い状況で、滑らか且つ無駄のない滑りをして9位に入る。気温が上がった2本目はとところどころ大きく穴があく様に掘れ、直線的に攻める事が出来ないコースとなったが、冷静にコース状況に合わせた滑りをした湯浅選手はゴールした時点で3位、2本目は8番タイム、合計で6位となった。シュラードミングワールドカップ以降、本調子をつかんだ湯浅に乞うご期待。この後はワールドカップ バンスコ(2/27)と続く。

トップアスリートと共に世界と戦い続けるジャパーナブランド



SKI



WEAR



BINDING



BOOTS



GOOGLE